

能代市カーボンニュートラル宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界各地で自然災害が頻発し激甚化しています。本市においても、これまでに経験したことのない猛暑や集中豪雨等が発生するなど、自然環境や私たちの暮らしに様々な影響・被害を与えています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求する」ことが目標に掲げられ、日本でも2020年10月に、温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を目指すことが宣言されました。

本市では、良好な風況や豊かな森林資源を背景に、洋上・陸上風力発電所やバイオマス発電所の立地が進んできており、これらを活用した地域振興に取り組んでいます。本市の有する導入ポテンシャルを活かした再生可能エネルギーは、地球規模の気候変動対策に貢献しています。

加えて、2025年5月策定の「能代市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、2030年度における二酸化炭素排出量を2013年度比で56%削減することを目指して、再生可能エネルギーの地産地消や省エネルギー化の促進などの各種施策に取り組むこととしたところです。

誰もが安心して暮らすことのできる豊かな環境に満ちたふるさと能代、そして日本、世界を次世代に引き継いでいくため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラルのしろ」の実現に向けて、市民や事業者と一体となって取り組んでいくことをここに宣言します。

令和7年7月1日

能代市長 齊 藤 滋 宣